

【問い合わせ先】

徳島海上保安部
交通課長 庄司 晴男
電話 0885-32-0431

徳島海上保安部
令和3年1月20日
午後4時00分発表

令和2年における海難発生状況（速報値）

徳島海上保安部及び美波分室の担当する徳島県、淡路島南部海域における海難の発生状況を取りまとめましたのでお知らせします。

（括弧内は前年比）

●船舶事故

- 「船舶事故数」：22隻（3隻増）
死者・行方不明者：1人（1人減）

●人身事故

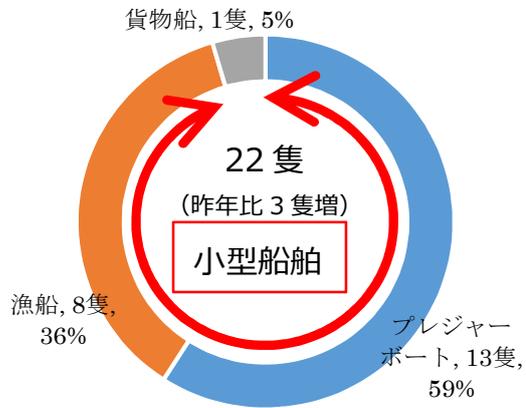
- 「人身事故者数」：10人（4人増）
死者・行方不明者：5人（前年同数）

【参考】過去3年間の推移（令和2年のみ速報値）

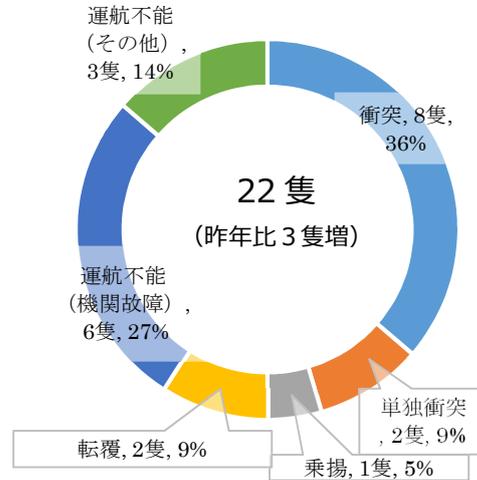
区 分		平成30年	令和元年	令和2年
船 舶	船舶事故数（隻）	20	19	22
	死者・行方不明者（人）	2	2	1
人 身	人身事故者数（人）	14	6	10
	死者・行方不明者（人）	3	5	5

船舶事故発生状況

用途別

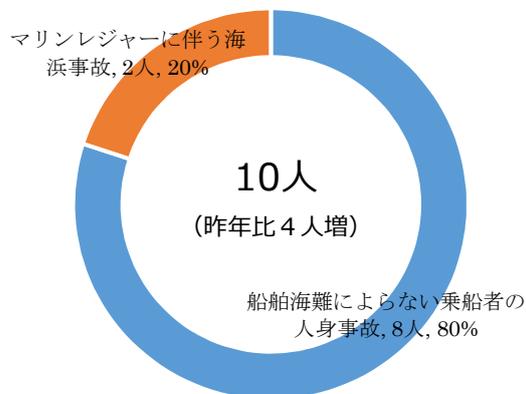


海難種類別

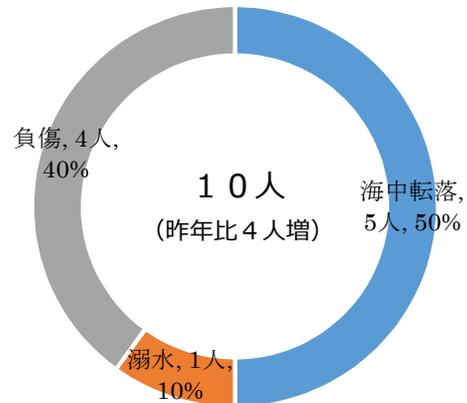


人身事故発生状況

区分別



事故種類別



マリレジャーに伴う海浜事故の内訳

- ・ 釣り中 1 人
- ・ 遊泳中 1 人

主な船舶事故の事例

○ 漁船同士の衝突【負傷あり】

事故船舶A（2名乗船）及び事故船舶B（単身乗船）は、鳴門市所在の土佐泊港を操業目的で出港し、鳴門海峡北側海域において操業中に衝突したものです。

両船は、自力航行により帰港しましたが、この衝突により負傷した事故船舶A船長は救急車により病院に搬送されました。

事故船舶A船長は、頭部打撲等により入院しましたが生命に異常ありません。

○ プレジャーボートの運航不能（機関故障）【負傷なし】

事故船舶（4名乗船）は、香川県東かがわ市所在の小磯漁港を出港し、鳴門海峡北側海域において魚釣り中、エンジン（主機関）が故障したことにより航行不能になったものです。

巡視船及び水難救済会所属船が現場へ急行し、先着した水難救済会所属船により亀浦港まで曳航されました。

○ プレジャーボート（手漕ぎボート）の転覆【負傷なし】

事故船舶（2名乗船）は、撫佐漁港からウチノ海向け魚釣り目的で出港し、途中、漕ぎ手を交代しようとした際にバランスを崩し転覆したものです。

転覆後、事故船舶及び海中転落者2名は付近航行船舶に救助されました。